

あなたの意見を市政に

施設めぐりに参加を 毎月第1・第3水曜日

公共施設を市民みなさんに実際にみてもらい、正しく理解していただくため、7月から「施設めぐり」を実施しています。

7月から9月までの3ヵ月間に18回の施設めぐりを実施し、436人が参加しました。参加した人の内訳は、老人クラブがもっとも多く11回で248人、婦人会が3回で82人、町内会が2回で33人、子ども会が1回で19人、その他の団体、個人が3回で54人となっています。

参加した人から市の政策や施設に対する要望や意見が次のようにだされました。

- 既存の産業公害防止を積極的にすすめてほしい。
- 田子の浦港の悪臭、ゴミをなくし「きれいな港」にしてほしい。
- 老人福祉センターを早く建設してほしい。
- 精神薄弱児(者)＝ふじやま学園など

の＝対策に一層の力こぶを入れてほしい。

- ゴミ収集の回数をふやしてほしい。し尿のくみ取りのメーターをわかりやすくしてほしい。
- 学校教育施設はすばらしくよくなった。
- 岩本山公園の整備と取り付け道路の建設を早くしてほしい。
- 国道1号線バイパスの早期建設はかってほしい。など、このほか多くの意見や要望がだされました。

市ではこうしたみなさんのご意見や要望を市政に反映

させていきます。

なお、公共施設めぐりは毎月第1、第3水曜日の2回実施しています。参加を希望する人は市長公室秘書課(本庁電話52-6111内線23・24)へ申し込みをしてください。申し込みは団体、個人でもできますが、団体の場合は19人以内にしてほしい。

案内する施設は勤労青少年会館、第1清掃作業所、ふじやま学園、岳南食肉センター、田子の浦港などです。

〈下水道処理場を見学する人たち〉



市民会館の結婚式

なんと3333組

高井さんカップルを 斉藤市長が祝福

吉原市民会館で11月30日に結婚式を行った高井勝彦さん(荒田島・23歳)芦沢孝子さん(厚原中・21歳)の新郎新婦に、斉藤市長からメッセージと記念品が贈られました。

これは、市民会館が昭和34年1月に開館してから、3,333組目のカップルが誕生したのに対し、斉藤市長が記念品を贈りお祝いしたものです。

ちなみに、今年市民会館で行なわれた

結婚式は200組で、いつもの年にくらべ約20パーセントも少なくなっています。これは今年が申(サル)年にあたるため、縁起をかついだため減ったのではないかと思われます。なお、ヒノエウマ昭和41年には457組の結婚式が行なわれました。



た。

昨年、富士市内で交通事故のために死亡された人は50人もあります。このうち保険金(50万円)の給付を受けたのは、わずか8人にすぎません。万一に備へひとりでも多く加入してほしいものです。

加入の手続きは、本庁交通課、各事務所市民課、各支所で行なっています。なお、11月に加入する人の掛金は150円です。

市民交通傷害保険に 加入しよう

みなさんは、市民交通傷害保険に加入しましたか。この保険は、1年間にわずか360円(1ヵ月30円)の掛金で、1人でも多く加入することによってお互いに助け合う制度で、昨年4月に発足しまし

バラの鉢作りの コツ

バラの植え方、育て方はすでにのべましたので、この号ではハチづくりのコツを教えましょう。

まず、ハチは小さめのものを使います。元肥に根が当たらないようにして、つぎ目がかくれるように土をかけます。元肥がないときはたい肥か腐葉土を土とよく混ぜて植えてください。

ハチ穴から根が出てきたら、土ごと抜いて大きなハチに植えかえます。植えかえるときハチと土の間に過燐酸石灰、草木灰を補給してください。

病虫害の予防は、ウドンコ病には1ヵ月に2~3回石灰イオウ剤を。黒点病には冬の間石灰イオウ剤で消毒するか、3月以降にタイセンで消毒を。アブラムシにはマラソン乳剤を。バラクキバチとカミキリ虫にはそれぞれBHC粉剤を4月と6月に散布してください。